



校長室だより

2023 Next Stage

令和6年2月27日
白山市立美川小学校



白山市美川和波町ワ229

TEL 278-2063



ありがとう

校長 清水由美子

今、「小さな感謝 ～人生を好転させる一番簡単な方法～」(三笠書房・鹿島しのぶ著)という本を読んでいます。著者は『ありがとう』、『こちらこそありがとう』というほんのちょっとした小さな感謝のやりとりが人の心のありようをガラッと変えてくれると書いています。また、「感謝はどんどん伝播する」として、ひとりの人が発した感謝の言葉によって、多くの人が感謝の気持ちを発し、穏やかな雰囲気に包まれたというお話も紹介されていました。

さて、先日の美川小学校の「6年生を送る会」、「感謝を伝える会」は、とてもすばらしい会になりました。1～5年生は、いろいろなことを優しく教えてくれたり、一緒に遊んでくれたりした6年生に感謝の言葉を伝え、その思いを劇や群読、演奏やダンス等で表現しました。6年生も卒業を前に周囲の人への感謝の思いを言葉や合奏で表現しました。また、毎日お世話になっている見守り隊やおはようボランティアさんに全校児童が書いた感謝の手紙をお渡ししたところ、心温まる感謝の言葉が返ってきました。体育館の中が『ありがとう』でいっぱいになった2時間でした。

前述の本には「自分が感謝することで相手が喜んでくれた、幸せな気持ちになってくれたと感じると自分自身もうれしくなり、それが自己肯定感の高まりにつながっていく」とも書かれています。感謝することで幸せが生み出され、感謝されることで幸せが生み出されるのです。

子どもたちには、日々の小さなことにも感謝の気持ちをもって過ごし、言葉で伝えられる人に育ってほしいなと思います。

🎩 大谷選手 ありがとう 🎩

『大谷翔平 日本国内すべての小学校に約6万個のグローブ寄贈へ』と報道されたのは11月。先日、エンジェルス(現ドジャース)大谷選手からのグローブがメッセージとともに本校に届きました！1日の美川っ子集会で児童にお披露目し、3名の6年生がそのグローブを使ってキャッチボールをしました。世界に羽ばたく大谷選手からのプレゼントにみな大喜びでした。

大谷選手のメッセージには「・・・私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます・・・」と書かれていました。大谷選手にとってこのグローブは夢の実現に欠かせないものであり、彼の人生を充実させているのが野球です。グローブを全国の小学生に送ることで、子どもたちにも「夢や目標をもって生きてほしい」という思いを伝えたかったのでしょう。そして、大谷選手のメッセージの最後には「・・・この機会にグローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします・・・」と、感謝の言葉が添えられていました。みんなで大切に使いましょう。



♡ 心ぽかぽかストーリー ♡

朝の風景です。1年生とおはようボランティアさんが笑顔で楽しそうにおしゃべりをしていました。何の話かな～。

